

## 〈授業報告〉

### 「日本事情」におけるビデオ教材使用の試みについて

村 中 淑 子

1994年度後期から、筆者の担当している「日本語」「日本事情」のクラスでビデオ教材を用いはじめた。ここでは「日本事情」のクラスにおける試みについて報告し、批判を仰ぎたい。概要は次の通り。

対 象：マレーシア人 6 人（工学部 5 人 医学部 1 人）

中国人 2 人（総合科学部 文系）

→ 中国人 1 名は大学院生、他は全て大学 1 年生。

使用教材：30分のニュース特集番組（NHK「クローズアップ現代」）の録画

授業の進行：① その日のテーマを告げ、知っていることなどを尋ねる。

② 6～7分の、まとまりのある部分を見せる。

③ 「単語リスト」を配る。

④ 少しずつ止めながら再生し、理解を確認。

内容についての質疑応答および議論。

⑤ ②④を繰り返す。

⑥ 「問題プリント」を配り、書き込ませる。

①～⑥をおよそ2回（2週）で完結する。

#### 【授業の準備作業について】

日本人向けの番組をそのまま使う、いわゆる「生教材」なので、かなり日本語のできる学習者にとっても理解の困難な部分がある。授業の準備として次のような作業を行う。

(1)番組の録画。月曜から木曜までの帯番組なので、「毎日録画」のプログラムにしておく。内容を随時チェックし、授業に使えるような分をためておく。

(2)録画を見ながら、大ざっぱなスクリプトを作成。はじめにカウンターをゼロにしておき、表示させながら繰り返し見ていく。「誰が何を話したか、何を示す映像が出たか」を記し、内容の切れ目に何分何秒と書き込んでおく。スクリプトは学習者には配らない。教師が授

業中に手元において、必要なところをすばやく頭出しするために用いる。時間が足りなくなったときにはどこを省略するか、なども書き込んでおく。

(3)「単語リスト」作成。むずかしい単語や理解のカギとなる単語を列挙し、振りがなをつける。単語の意味の説明は載せない。この授業の目的に合わせて能率をよくするためである。説明を載せてしまうと、読んで理解しようとする時間が必要となる。説明の日本語が理解できないということもあり得る。一つのテーマに沿った番組内容ではあるが、30分番組であるから出現語彙はかなり多い。まったく聞いたことのない語、聞いたことはあるがよく知らない語、見たことはあるが名前を知らないもの、漢字を見ればわかる語、など各単語の理解の程度はさまざまである。そこで、説明は授業中に、理解の程度を確認しつつ口頭で簡単に行う。学習者は「単語リスト」の各単語の横に設けられたスペースにすばやく書きつけることが可能である。

「単語リスト」を作る主な目的は、そのように意味の自主的メモとして活用させるためと、単語の正しいつづり方・発音を示すためである。学習者はしばしば音を聞き間違い、その間違った形のまま記憶している（毛布をモフー、震源をジゲンなど）。

(4)「問題プリント」作成。内容を理解したかどうかを確認するため、および意見や感想を促すための問題を6～7問作る。書くことによってその授業中に見たビデオや話し合いの内容をまとめ、理解力・表現力を養いつつ達成感を持たせるためである。

### 【授業の目的と取り上げた番組について】

「日本事情」の授業の目的は、「現代日本のさまざまな面における実状およびそこに現れた日本人の考え方を知ること」に加えて、「日本語力を補強すること」としている。

取り上げた番組には次のような特徴があり、この授業の目的に合うと考えた。

目的の一つめに関しては、番組内容が、今まさに問題となっていることを取り上げており、現代日本の側面を知るのにちょうどよい。大きな事件が起こるとすぐに取り上げているので、興味を引きやすいということもある。

目的の二つめに関しては、まず「聞く力」を養う助けになる。音声的にバリエーションが豊富である。すなわち、ナレーターの発音は、ややゆっくりで非常に明瞭である。キャスターの発音は、全体に良い（日本語を母語とする人にとっては聞きやすいと思われる）が、ごく自然な（学習者にとってはかなり速いと感じられる）スピードのため、ところどころ不明瞭になっており、学習者にとってはややむずかしい部分もある。インタビューされる人々やゲストの発音は、ごくふつうであり、必ずしもよい発音ではない。このように同じテーマについてさまざまな人の発音を聞くということが、日本語の聴解の力をつけるのに有効

であると考えられる。一方、最もかなめの部分はナレーターの話す部分であり映像の助けもあるので、理解しやすさという点でもある程度安心できる。「聞く力」のほかには、内容について話し合いをすることで「話す力」、問題プリントに書き込むことで「書く力」をつけることもねらっている。「読む力」に関しては、字幕や表・グラフを読みとることでかわってくるが、主な目的とはしていない。いずれにしても、「日本語」ではなく「日本事情」の授業なので、一語一語を完全に理解することよりは、内容を大づかみにして要点を理解する力を養うつもりで進めている。

そのほかに次のような特徴があり、教材として使いやすいつと考えた。事例報告・現場報告・実験などによって、問題が具体的に説明される。表やグラフによる説明がある。30分でひとつのテーマを取り上げており、完結した感じがある。一方で、内容の切れ目がいくつもあり、ところどころ省略しても理解が可能である。

### 【取り上げたテーマ】

「都会における墓不足」「賞味期限表示の改正」「アルツハイマー性痴呆症」「老人の一人暮らし」「阪神大震災」など。

### 【問題点・反省点】

学習者による日本語力のばらつきがあり、やりにくい面があった。すぐに理解できる学習者がいる一方で、理解できないことに対してあきらめムードの学習者もいる。「内容を大づかみにすればよい」と考え、学習者にもそのように告げたが、実際はどの段階で見切るかに迷いがあった。また、日本語力の高い学習者が立て続けに発言すると、他の学習者が遠慮してしまうといったことがあった。まんべんなく目線を配り、発言の少ない学習者には指名したが、全員が発言しやすいようなクラスの雰囲気を作る工夫が肝要であると感じた。

学習者によって興味のあり方が異なり、テーマによっては学習意欲に差がみられ、発言頻度や「問題プリント」の記述内容の量・質に反映した。「アルツハイマー」や「老人の一人暮らし」などの老人問題は、誰もが考えるべきことと思って取り上げたのだが、20歳前後の学習者にとってはあまりぴんと来ない場合もあったようだ。取り上げるテーマについては、今回は筆者が良さそうと思えるものを選んだが、複数提示した上で学習者に選ばせるほうがよいかも知れない（その場合、ストックが多数必要である）。

日本文化全般に関するような質問に対してじゅうぶんな回答のできない場合があり、勉強不足・人生経験の不足を痛感した。たとえば、「都会における墓不足」では、「お墓は個人のものなのか」「なぜ火葬にするのか」などの質問があった。筆者は、「日本事情」

においては、知識を与える授業というよりは、考えるきっかけを与えるような授業をめざしているの、必ずしも「生きた百科辞典」のようになる必要はないのかも知れない。しかし、「日本事情」を担当する場合は、ある程度の広範な知識を持っているほうが望ましいであろう。

「日本人はこういう時どう考えますか」という質問に対し、「時代や年代、住んでいる地域、職業、環境によって同じ日本人でも考え方は異なる」ということを示すように心がけている。留学生の場合、日本人と直接話す機会が意外に少ないようなので、決めつけた言い方をしないよう特に気をつける必要があると考える。しかし、決めつけないようにし過ぎて結局あいまいになってしまうこともある。むしろ逆に、かなり偏った意見をわざと言うことによって反論させ、議論を活発にさせるという方法もあるかもしれない。いかがであろうか。

また、留学生の授業中の発言や「問題プリント」の記述内容に対しては、できるだけ客観的に取り扱うよう気をつけた。どのような意見であっても、批評はせずそのまま受け入れたうえで、なぜそうなのかということを追求めたつもりである。

最後に、資料として「単語リスト」と「問題プリント」を載せる。スペースの関係で以下のような形にした。実際に配ったものは、「単語リスト」「問題プリント」とともにB5版1枚ずつであり、「単語リスト」は縦一列に単語を並べ、右側を空白にして簡単な説明が書き込めるようにした。「問題プリント」は、答が書き込めるようにそれぞれの問の下に4行～5行の空白を設けた。

#### テーマ「賞味期限表示の改正」

##### 【単語リスト】

製造年月日（せいぞうねんがっぴ）      賞味期限（しょうみきげん）  
食品（しょくひん）      日付表示（ひづけひょうじ）      鮮度（せんど）  
新鮮（しんせん）      生産（せいさん）      流通（りゅうつう）  
義務づける（ぎむづける）      法の改正（ほうのかいせい）  
加工食品（かこうしょくひん）      開店前（かいてんまえ）  
補充（ほじゅう）      販売期間（はんばいきかん）  
売れ行き（うれゆき）がよい・悪い      廃棄処分（はいきしょぶん）  
廃棄する（はいきする）      品質検査（ひんしつけんさ）  
採算ライン（さいさん）      悩みの種（なやみのたね）  
小売り商店（こうりしょうてん）      品目（ひんもく）      酸化（さんか）  
劣化（れっか）      賞味期間（しょうみきかん）

官能テスト（かんのう）

【問題】

- 「賞味期限」はどのようなものですか。
- 「賞味期限」とは何のためにあるものですか。
- スーパーでは今、多くの食品が廃棄されています。なぜですか。
- 廃棄されないためにはどうしたらいいですか。
- 来年の4月から食品日付表示が変わります。どう変わりますか。
- 食品日付表示が来年から変わるのはなぜですか。
- あなたは食べ物を買うときに、鮮度にこだわりますか。

テーマ「老人の一人暮らし」

【単語リスト】

マンモスニュータウン      相次ぐ（あいつぐ）      孤独（こどく）  
泉北ニュータウン（せんぼく）      看取られる（みとられる）  
四半世紀（しはんせいき）      高齢化（こうれいか）  
最大級（さいだいきゅう）      ベッドタウン  
急を要する（きゅうをようする）      一命（いちめい）をとりとめる  
麻痺（まひ）      年金生活（ねんきんせいかつ）  
人口流入（じんこうりゅうにゆう）      人口急増（じんこうきゅうぞう）  
都市型住宅の供給（としがたじゅうたくのきょうきゅう）  
入居（にゆうきょ）      核家族（かくかぞく）      頻繁に（ひんばんに）  
使い捨て（つかいすて）      病気を苦にする（びょうきをくにする）  
身寄り（みより）      不安を抱える（ふあんをかかえる）  
拍車がかかる（はくしゃがかかる）      ～の一端をたどる（いっとをたどる）  
自活（じかつ）      気を遣う（きをつかう）      達者（たっしゃ）  
引きこもる

【問題】

- 泉北ニュータウンはどこに、いつごろ、何のために作られましたか。  
作られたときはどのような人が住んでいましたか。
- 現在、泉北ニュータウンではどのような人が増えていますか。  
それはなぜですか。

- 「使い捨て老人」ということばをどう思いますか。
- 一人暮らしの老人のために、どのような対策が行われていますか。
- こどもと一緒に暮らさず、一人暮らしをするという老人もいます。  
それはなぜですか。「同居の孤独」とはどういう意味でしょうか。
- 自分が老人になったとき、誰とどのように暮らしたいと考えていますか。

### テーマ「阪神大震災」

#### 【単語リスト】

兵庫県南部地震（ひょうごけんなんぶじしん）

阪神大震災（はんしんだいしんさい）

余震（よしん） 震度（しんど） マグニチュード

直下型地震（ちょっかがたじしん） 活断層（かつだんそう）

犠牲者（ぎせいしゃ） 被災者（ひさいしゃ） 被災地（ひさいち）

停電（ていでん） ライフライン 避難生活（ひなんせいかつ）

避難所（ひなんじょ） 義援金（ぎえんきん） 倒壊（とうかい）

被害（ひがい） 火災（かさい） 都市機能（としきのう）

復旧（ふっきゅう） 復興（ふっこう） がれき

#### 【問題】

- 今回の地震はどのようなものでしたか。
- 今、被災地ではどのような問題が起こっていますか。
- 被災者を助けるためにどのようなことがおこなわれていますか。
- 被災地以外の場所にどのような影響がありましたか。
- 地震に備えてどのようなことをすればよいと思いますか。
- そのほか、今回の地震について考えたことを書いて下さい。

\* 「阪神大震災」に関しては、関連ニュースが膨大な量であり、学習者の持つ情報量もかなりあると思われたので、ビデオを見る時間は少しにとどめ、話をする時間を多くとって授業をおこなった。

\*\* この授業においては、ここで報告したようなビデオ使用の授業の他に、プリントと板書のみによって話し合う授業もおこなった。

（むらなか・としこ 総合科学部助教授）